

# 令和5年度 社会福祉法人 三彩の里

## 令和5年度社会福祉法人 三彩の里 本部 事業報告

事業名	開催日	場所	人数	内容
1. 会務の運営				
(1) 監査	5年5.23	会議室	4	1. 令和5年度事業執行状況・会計について
(2) 理事会 (第1回)	5年5.27	会議室	7	1. 令和4年度事業報告について 2. 令和4年度収支決算について 3. 定款一部変更の件 4. 定時評議員会召集の件 報告事項；監事監査報告
(第2回)	5年6.14	会議室	7	1. 理事長改選の件
(第3回)	6年3.30	会議室	6	1. 令和5年度補正予算について 2. 令和6年度事業計画について 3. 令和6年度三彩の里会計当初予算について 4. 施設入所支援事業の定員変更の件 5. 三彩の里運営規定一部改正の件
(3) 評議員会 (第1回)	5年6.14	会議室	5	1. 令和4年度社会福祉法人三彩の里会計決算承認の件 2. 理事・監事の選任の件 3. 定款一部変更の件 報告事項 ① 監事監査報告 ② 令和4年度事業報告について ③ 社会福祉充実計画について
2. 研修会・ 委員会等への 参加	5年4.14 5.3~5 5.24 5.25 6.7 6.30 7.22	大村市 大村市 長崎市 大村市 長崎市 WEB 大村市		大村市ネットワーク協議会 三彩の里 38回陶器まつり 共同受注センター理事会 大村市自立支援協議会 長崎県 Selp 協代表者会 日本セルフセンター総会 韓国福祉財団三彩の里見学の為来所

8.8	諫早市	長崎県身体障害児者協研修会
8.28	大村市	優先調達プレゼンテーション
9.7	長崎市	長崎県経営者協議会前期セミナー
9.14~15	大分市	全国 SELP 大会 (大分)
9.30	諫早市	つかさ会前理事長志賀司朗氏 20 年祭
10.15	大村市	健康福祉まつり
10.29	長崎市	ながさき障害者フェス
11.9~10	福岡市	三彩の里利用者研修旅行
11.14	大村市	共同受注センター工賃向上セミナー
11.16~17	熊本市	九州 SELP 協議会施設研究大会
11.24	大村市	大村市障害者支援施設ネットワーク協議会
12.19	諫早市	長崎県身体障害児者協研修会
6 年 1.10	大村市	大村市自立支援協議会
2.6	大村市	優先調達意見交換会
2.13	長崎市	長崎県経営者協議会後期セミナー
2.21~22	東京都	全国社会就労センター長研修会
2.27	大村市	文化芸術と福祉の取り組み
3.19	大村市	大村市自立支援協議会
3.22	長崎市	長崎県身体障害児者協代表者会
3.26	長崎市	長崎県 Selp 協代表者会

## 令和5年度 生活介護事業報告

### 【生活支援面】

#### 1. 個別ニーズに応じた日常生活支援

1)利用者様個々に対し必要に応じアセスメントを行い、利用者のニーズに応じた支援計画を立案し計画に沿った支援を行った。

2)各関係機関等と連携し、随時支援状況の評価・検討を行った。

3)個別の移動状況に応じた支援を行いながら、残存能力の維持に繋がるようリハビリテーションやレクリエーションの声掛けを行った。

4)利用者それぞれの能力を活かしながら、出来ない部分を補う形での食事介助や排せつ介助、入浴介助、洗濯、居室清掃などの支援を行った。

#### 2. 機能回復訓練

1)令和5年度は、理学療法士に來所して頂き、指示書に基づいたリハビリを実施していたが、8月コロナウイルスの施設内感染により中断し、令和6年2月より再開した。中断している間、理学療法士の來所は無いがリハビリは継続して実施した。

#### 3. 介護

1)担当職員が同じレベルで食事介助や排せつ介助、入浴介助が行えるよう、生活支援会議、サービス利用担当者会議、ケア会議など実施し職員間の共通認識を図った。

#### 4. 社会資源の活用

1)感染対策を実施しながら季節感を感じられる「花見（桜）」「花菖蒲見学」「紅葉見学」などを食事会も併せて実施した。

2)月1回、理容師に來て頂き散髪支援を実施した。

3)注文による買物支援や職員同伴での買い物支援を実施した。



「花見の代替え外出」

「花菖蒲見学」

「紅葉見学」

## 【保健衛生面】

### 1. 日常の健康管理

1)朝礼や昼礼などで具合が悪い利用者がいないか聞き取りを行った。

服薬の介助、薬の管理を行い、体調不良時には通院（受診、薬の受け取り）居室や医務室での静養、検温や血圧測定を行い、職員間では朝礼で報告をし、情報交換を行った。

2)高血圧で内服治療中の利用者は 20 名で、自分で測定できる利用者には、測定ノートに記入していただき通院箇所との連携を取った。

3)糖尿病で内服治療中の利用者には医務室で預かり、服薬支援を行った。低血糖や高血糖がないか観察を行い、通院時報告をした。

4)服薬管理は、本人の確認・薬袋の名前の確認・服薬時間の確認を行い、服薬支援を行った。お薬カレンダーへのセットは看護師 2 名・夜勤者 1 名でチェックを行った。

5)月 1 回の体重測定を実施。±5Kg の利用者には嘱託医に相談し検査を行った。増量した利用者は 2 名で、1 名は BMI では普通体重範囲内、他 1 名はグループホームの利用者で、間食について聞き取りを行った。

6)入浴介助はシャワーチェアやリフトを使用し介助を実施した。夏場週 3 回、冬場は 3 回の入浴介助を行い身体の保清と皮膚異常などの観察を行った。

7)歯科往診では、治療と健診を実施し、必要な利用者にはブラッシング指導、介助が必要な利用者にはブラッシング支援を行った。

8)皮膚疾患の利用者は適宜往診と通院を行い、処方された軟膏処置を行った。

## 2. 定期健康診断

- 1)入所者、夜勤者には年に2回の定期健康診断を実施した。
- 2)パート、通所者、グループホームの世話人さんには年に1回定期健康診断を実施した。
- 3) 35歳以上の職員には協会けんぽの健康診断を年に1回実施した。
- 4) 異常が認められた利用者には、嘱託委に相談し再検査を実施、通院されている利用者には、本人許可をとり通院箇所の主治医にも情報の共有を行った。

## 3. 感染症等の予防対策

- 1)新型コロナウイルス感染症に対して、R5年5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症となったが、施設では重症化リスクの高い障害者が多く生活されており、継続して感染対策を実施した。
- 2)熱中症や季節性インフルエンザ、ノロウイルスの感染症への対策として、利用者にはわかりやすい画像やイラストで感染予防の指導を実施、スタッフには朝礼や会議等で勉強会を行った。
- 3)新型コロナワクチン、インフルエンザワクチンを希望する利用者への対応。  
接種予約、接種同行、副反応への対応等を実施した。  
インフルエンザワクチン接種率は86%。新型コロナウイルスワクチンは各回、各住民票がある市に報告を行い、接種券を送っていただいた。

## 4. 居室衛生管理について

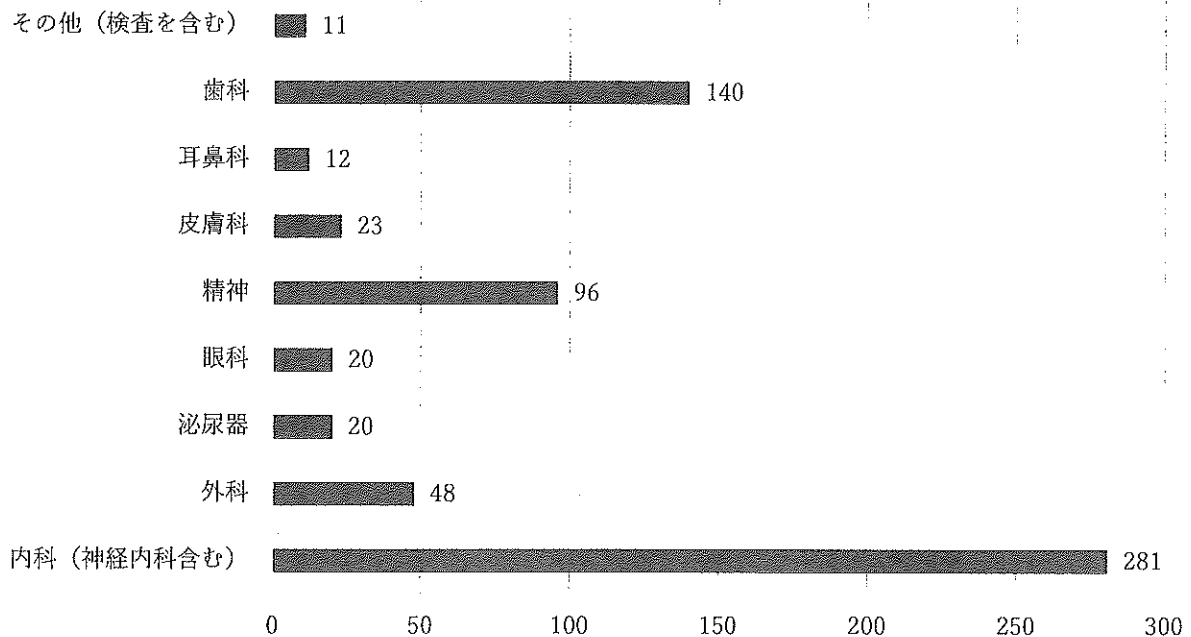
- 1)半年に1回程度、殺虫剤を使い居室の害虫駆除を実施した。適宜、居室や発生しやすい箇所には、駆除剤を設置した。

## 5. 通院状況

通院状況は利用者の高齢化や重度化もあり、新しく入所された利用者で、1人で数件通院されている方も多くなった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科（神経内科含む）	22	23	26	14	26	19	20	28	25	30	25	23	281
外科	6	5	3	6	6	2	5	3	3	3	2	4	48
泌尿器	3	1	2	3	0	3	0	3	0	2	2	1	20
眼科	2	1	3	1	2	2	3	1	1	1	1	2	20
精神	6	10	6	11	7	10	4	9	5	8	9	11	96
皮膚科	0	4	0	2	0	3	3	1	1	2	4	3	23
耳鼻科	0	1	1	2	3	0	1	0	0	1	1	2	12
歯科	11	10	13	10	5	11	15	13	11	14	14	13	140
その他（検査を含む）	0	2	1	1	1	0	3	0	2	0	0	1	11

## 通院数



### 【給食部門】

#### 1. 食中毒の予防

食中毒や感染症予防対策として、調理従事者の健康管理や、調理場の温度・湿度管理の徹底を行った。また、食品の適切な加熱・温度管理を行い、食中毒を防止することで安心・安全な食事を提供することができた。

#### 2. お花見昼食会 (3月22日実施)

手作りではなく外部にお花見弁当を注文し、提供を行った。

当日は急遽遠足が中止となった為、公園ではなく新館食堂内で食事をしていただいた。

#### 3. クリスマス食の提供 (12月25日実施)

新館食堂にてクリスマス食の提供を行った。コロナ禍のためバイキング形式ではなく、昨年度同様個々での食事形態とし、リース型チキンライス・フライドチキン・キッシュ・ショートケーキ等の提供を行った。

#### 4. 行事食の提供

お花見、土用丑の日、七夕、納涼祭、秋メニュー、ハロウィン、クリスマス、餅つき、おせち料理、鏡開き、還暦・成人の祝い、節分、バレンタイン、ひな祭りの行事食の提供を行った。

## 5. 非常食の喫食（9月1日実施）

防災の日に非常食を喫食し、防災について考える機会作りを設けた。

（カレーピラフ・筑前煮・トマトスープ・クッキー）

災害時における非常食の確保と備蓄数の確認を行い、ライフラインの寸断や施設の損壊等の状況下でも、継続的な食事提供に近づけられる体制作りを整備し災害の発生に備えることが出来た。

## 6. パン食・麺食の提供

（パン食）

週に1度昼食でパンに合うメニューを考慮しながら献立作成を行った。

飽きがこないよう菓子パンから調理パンまで様々なパンを三彩の里パン工房に発注し、給食に取り入れることが出来た。また、パンの選択食を実施したことで、利用者を選ぶ楽しさを感じてもらい満足度の向上にも繋げることが出来た。

（麺食）

嗜好調査で麺類が食べたいとの声が半数以上あったため、週に1度昼食で麺類の提供を行った。（うどん・そば・ラーメン・ちゃんぽん・焼きそば・担々麺等）

日常の食事に変化を取り入れ、利用者様の施設生活の充実を図ることが出来た。

## 7. 治療食の提供

糖尿食・減塩食・嚥下食の提供を行った。

各部署と連携を取りながら、利用者の体調の変化に合わせた食事を提供した。

## 8. 給食会議

（参加者：施設長・栄養士・調理員・生活支援員）

よりよい食事提供のために毎月1回会議を開き、翌月の行事、衛生管理、メニュー等課題を取り上げて検討し、日常的な情報交換・共有の徹底を行った。

## 9. 嗜好調査（令和6年3月17日実施）

入所者：36名 通所者：12名 合計48名

利用者の嗜好やニーズに配慮した質の高い食事サービスに努めるために、嗜好調査を実施した。

日常の食事に対する意見や要望をアンケート形式で聞き取り、喫食者の嗜好や現在の食事に対する不満等の状況把握を行うことが出来た。

# 令和5年度 施設入所支援事業報告

## 1.生活支援について

### 1)個別支援サービスの充実

利用者様個々に対し必要に応じてアセスメントを行い、サービス管理責任者を主体にケア会議を開き、利用者様個々のニーズや希望に応じた支援計画書を作成し計画書に沿った支援を実施した。個別支援計画書の支援期間は6ヶ月とし見直しを行った。

### 2)相談支援について

必要に応じて個別面談を実施し、生活状況の把握に努めた。また、利用者様の担当相談支援事業所と連携し迅速な対応を行った。

## 2.介護支援について

利用者様の身体状況の変化等に応じ、サービス管理責任者を主体にケア会議を開き個別に応じた食事介助や入浴、排泄などの介護支援に努めた。

## 3.災害（火災・自然災害）及び施設整備について

火災・夜間想定の避難訓練を実施した。

## 4.虐待対策について

虐待対策・防止について、職員全員参加の施設内研修を実施した。

## 5.苦情解決について

令和5年度の苦情受付は、4例あったが解決済みとなっている。

- ・利用者用冷蔵庫に入れていた飲み物を飲まれた。
  - ・送迎車内で他の利用者の行動にイライラし更衣室のロッカーを蹴る等の行動あり
  - ・男性利用者が女性利用者の体に触る。
- いずれも利用者間のトラブルであった。

## 6.施設入所者数の現員及び入退所者数について

### 1)令和5年4月～令和6年3月の施設入所者数

令和5年4月末日現在 定員50名 現員37名。

令和6年3月末日現在 定員50名 現員35名。

### 2)令和5年4月～令和5年3月の入退所者数

入所者数 3名、退所者数 5名。

3)入所者の1名は、生活介護サービス利用、2名は就労継続支援B型サービス利用の施設入所支援となっています。退所者の5名に関しては、身体レベルの重度化に伴い病院への移動が4名、ご家族の希望で他の施設（県外）への移動が1名となっています。

## 令和5年度 就労継続支援B型事業報告

令和5年度はコロナウィルスが5類に移行したことにより、5月は陶器まつり、10月は彩フェスタとコロナ以前の規模で実施することが出来た。

また、各所でのイベント等の再開により、出店機会が増え、徐々にではあるが売上回復の兆しが見え始めている。

ただ、各課共通の課題で光熱費または原材料の高騰は継続しており、利益の圧迫を行っている状況で根本的な見直しが必要な状況で、工賃向上計画に関しても前年度（令和4年度）より平均工賃は回復したものの、目標工賃（25,000円）には至っておらず、各課での作業計画見直しが必要な状況。

利用者支援においては、個別支援計画書に沿った指導・支援を行い、また、相談支援事業所を中心として外部意見を積極的に取り入れ、より利用者寄り添った支援方法を模索・実施した。

### 1. 個別支援計画に沿った支援の充実

各利用者の個別支援計画に基づいて、定期的に相談支援事業所も含めた会議を持ち、計画に沿った的確な支援を行えるよう努め、モニタリングやサービス担当者会議の実施。

また、支援日誌や朝礼日誌の情報を職員で共有し、全職員が共通して利用者の生活面や健康面、作業中の問題などに対して認識し、支援が出来るよう努めた。

### 2. 工賃向上計画について

事業所総支給額 目標工賃 25,000円/月額

平均工賃、時給額	平均工賃額			平均時給額			備考
	支給額(円)	人数	平均工賃(円)	支給額(円)	時間	平均時給	
総支給額と延人数①	7,703,661	337	22,860	7,703,661	39707.05	194.0	※1
総支給額と延人数②	7,608,291	330	23,055	7,608,261	39168.3	194.2	※2

※1：入院、月途中の入退所者を除く。 ※2：※1とコロナ罹患者を除く。

※R4年度 全国平均工賃 17,031円/長崎県平均工賃 19,341円

陶芸課	平均工賃額		
	支給額(円)	人数	平均工賃(円)
総支給額と延人数①	1,953,895	92	21,238
総支給額と延人数②	1,934,335	91	21,256

食品課	平均工賃額		
	支給額(円)	人数	平均工賃(円)
総支給額と延人数①	1,509,461	65	23,222
総支給額と延人数②	1,499,536	63	23,802

軽作業課	平均工賃額		
	支給額(円)	人数	平均工賃(円)
総支給額と延人数①	4,079,160	168	24,281
総支給額と延人数②	4,005,940	164	24,426

### 3. 各課別事業報告について

#### [陶芸課]

令和5年度は、長崎県より大口受注があり三彩焼きを記念品として使用して頂き、売上向上に繋がった。

また、5月には陶器まつりを実施し、6月には3年ぶりに陶芸教室コンクール表彰式を執り行うことが出来た。

陶芸教室に関しては、気軽に予約できるインターネットサービスの利用者が増加し、結果的に陶芸教室利用者の増加に繋がっている。

ただ、商品製造では、大口の受注もあり計画を立てて取り組んでいたが通常の作業支援や陶芸教室の対応、既存の受注等との兼ね合いがうまくいかず納期までに余裕を持って取り組む事ができず、計画の立て方や役割分担等の課題が残った。

利用者支援については、利用者の性格や特性などに合わせて作業内容や作業環境等について職員で話し合っって検討し支援を行った。

#### 〈年間行事報告〉

月	日	曜日	行事内容	項目	職員 延べ員数	利用者 延べ人数
5	3~6	水~土	陶器まつり (4日間)	販売	16名	32名
7	1	土	出張陶芸教室	講習	1名	0名
7	2	日	ハートパルまつり	講習	2名	0名
9	29~10/2	金~月	ふれあい夢彩都販売 (4日間)	販売	3名	0名
10	2・16	各月	陶芸講座 長崎リハビリテーション学院	講習	1名	0名
10	9	月	花フェス	販売	2名	0名
10	21~22	土・日	彩フェスタ(2日間)	販売	6名	16名
10	25	水	障害者フェス	販売	1名	0名
10	29	日	松吉販売	販売	2名	0名
11	6・20	各月	陶芸講座 長崎リハビリテーション学院	講習	1名	0名
11	14	火	出張陶芸教室	講習	2名	0名
12	11	各月	陶芸講座 長崎リハビリテーション学院	講習	1名	0名
2	9	金	長崎県美術館 はじめの一步展	見学	1名	2名
3	20	水	イオン大村パンパーク	販売	1名	0名

※その他、ハート屋観光通り、長崎県庁、オレンジクローバー等に定期的に出店した。

[食品加工課 パン工房ボンヌ]

令和5年はコロナウィルスの5類移行により、販売機会の向上や受注量の回復が見られた。ただ、依然として物価・光熱費等の高騰は続いており、10月に一部商品の価格改定を実施したが、利益の圧迫は続いている状況。

商品開発については、販売会等を利用して新商品新商品を試作して販売を行い、既存の商品と入れ替えを行うことにより既存のお客様の満足度向上や新規顧客獲得に繋げている。

また、ホームページやSNSで商品の紹介や販売会の案内など積極的に情報発信を行い、宣伝活動にも力を入れ、売上向上に努めた。

利用者指導においては、個別支援計画書に沿った指導・支援を行い製造技術向上に繋がった。

〈年間行事報告〉

月	日	曜日	行事内容	項目	職員 延べ員数	利用者 延べ人数
5	3~6	水~土	陶器まつり (4日間)	販売	16名	11名
7	2	日	ハートパルまつり	販売	0名	0名
8	25	金	農機具展示会販売	販売	0名	0名
9	29~10/2	金~月	ふれあい夢彩都販売(4日間)	販売	2名	0名
10	15	日	氷川神社まつり	販売	1名	0名
10	21~22	土・日	彩フェスタ	販売	8名	6名
10	29	日	長崎リハビリテーション学院祭	販売	1名	1名
3	20	水	イオン大村パンパーク	販売	3名	0名

※その他、ハート屋観光通り、オレンジクローバー等に定期的に出店

※毎週月・金曜日は泉の里販売・木曜日はツジデン販売を行っている

※ハートパルまつり、農機具展示会の販売では、カフェボンヌから職員から1名出勤

[カフェボンヌ]

5月にカフェボンヌのリニューアルを行い、地産地消をコンセプトに旬の野菜、材料を使用したメニューにする等、見直しを行い、カフェ会議を通して、メニューの見直しや地域のイベント等にも積極的に出店し、カフェの宣伝を行った。

しかし、施設のイベント等（陶器まつり・彩フェスタ・出張カフェ）では一定の成果が出たものの、カフェのみでの成果は思うように上がらない状況が続き、令和6年2月よりパン工房ボンヌが一時的に人員不足になったことにより、月~水はパン工房の作業を行い、木~土曜日のみカフェを営業することとなり、結果的に規模縮小する形となった。

利用者支援においては、パン工房・カフェ作業、それぞれでの技術向上に繋がるよう指導・支援を行った。

### [軽食ターンマーク]

令和5年度は総売り上げ約600万円と計画通り達成できた。年4回メニュー表の見直しを行い、新商品の導入・商品の入れ替えを行い、お客様の要望に応えた。

また、材料費・光熱費の値上がりが続き、4月に商品の価格改定を実施。他、コロナウイルス感染症対策は継続して行い、利用者指導においては、個別支援計画書に沿った指導・支援を行い工賃向上に繋げた。

### [軽作業課]

施設内の作業は、野菜受託加工作業を中心に行った。野菜の計量、結束、箱詰め、計量の確認作業の指導を行い、作業に携われる利用者も増えた。施設外の清掃業務では、中心市街地複合ビル、ハイテク記念公園、鎮西学院大学大村サテライトキャンパスの特別清掃を行った。昨年度に引き続き、利用者のコロナ感染防止の為にマスク・手洗い等の徹底と、通常清掃では日頃人の手が触れる箇所は徹底して清掃を行えるよう努めた。複合ビル、サテライトキャンパスの特別清掃では、操作が難しいポリッシャーを改良したことから、特定の利用者でも扱えるようになった。また共同受注センターの業務委託では除草作業を行った。熱中症等の対策の徹底と、除草した草を施設の作業場に持ち帰り袋詰めを行う等、可能な限り利用者が安全に作業を行えるよう努めた。

#### (施設外作業別の回数と出席回数)

##### ハイテク記念公園清掃

清掃回数 月10回 年120回 参加利用者数 6名

内 容 駐車場・広場の掃き清掃、公衆トイレ清掃、月1回の除草作業

##### 中心市街地複合ビル清掃

清掃日数 月曜～金曜(祝日含む)12月31日、1月1日を除く年261回、参加利用者数6名

内 容 1階 玄関、エントランス、ロビー、廊下、給湯室、階段喫煙所  
2階 廊下、給湯室、階段  
5階 廊下、給湯室、階段、会議室3部屋、和室  
6階 廊下、給湯室、階段、会議室4部屋、和室2部屋、講座室2部屋、活動室

##### 中心市街地複合ビル特別清掃(ワックス剥離、ワックスがけ)9月～12月

内 容 1階 廊下  
2階 廊下  
3階 廊下、相談室5部屋、スタッフルーム  
4階 廊下、大会議室、相談室3部屋、サークルルーム、ボランティアルーム  
講座室、ライブラリー室  
5階 廊下、中会議室、会議室、小会議室  
6階 廊下、小会議室4部屋、講座室、活動室

## 除草作業

作業期間		曜日	発注元	作業日数	延人数	
月	日				職員	利用者
5	22～26	月～金	大村市新幹線まちづくり課	5	9	13
7	11～8/3	月～金	長崎県学芸文化課	14	22	21
7	15、21	土、金	長崎県労働局	2	5	8
8	7～22	月～土	大村市新幹線まちづくり課	8	17	20
9	26～10/5	月～木	大村市新幹線まちづくり課	5	9	11
11	8～21	月～水	長崎県学芸文化課	6	12	12
11	27～30	月～木	大村市新幹線まちづくり課	4	7	6
1	17	水	長崎県地域環境課	1	2	3
3	16、18、19	土、月、火	長崎県労働局	3	3	10

## 4. 生活支援について

令和5年度も利用者の居室管理を生活支援員と利用者自身にもチェックをしてもらい、整理整頓に対する意識の向上を図った。また、感染対策を継続しながら様々な施設行事を行った。

(年間行事報告)

月	日	曜日	行事内容	項目	利用者人数
5	12	金	陶器まつりお疲れ様会	行事	29名
5	28	日	障害者スポーツ大会	行事	21名
5	31	水	チャレンジデー	行事	29名
8	5	土	原町 町内会清掃	行事	4名
9	1	金	防災の日 (ビデオ鑑賞・防災食)	行事	30名
11	2	木	利用者日帰り旅行 (武雄市)	行事	6名
11	3	金	立浪部屋力士との交流 (光と緑の園)	見学	4名
11	4	土	立浪部屋力士との交流 (ワーキングヒルズ)	見学	6名
11	9～10	木～金	利用者1泊旅行 (福岡)	行事	21名
12	22	金	利用者忘年会	行事	29名
12	27	水	餅つき	行事	29名
2	3	土	豆まき	行事	29名
2	9	金	初午祈願	行事	4名

※各月カフェにて利用者のお誕生日会を実施

※毎月1回土曜日 希望する利用者の買い物訓練を実施



「陶器まつりお疲れ様会」



「障害者スポーツ大会」



「光と緑の園 立浪部屋力士との交流」



「ワーキングヒルズ 立浪部屋力士との交流」



「利用者日帰り旅行 武雄温泉」



「利用者1泊旅行 福岡」

## 5. 保健衛生面について

5類移行した後もコロナウィルス感染対策は継続して行い、マスク着用・手洗い・消毒・検温の徹底を行った。他、感染状況に応じて外部との面会禁止等、柔軟に対応を行い、感染防止に努めた。

## 6. 給食について

毎月給食会議を実施し食事面の問題点などの検討と全体への報告を行い、掲示板等を使用して、食事に関する栄養や健康面などの情報提供も行った。

## 令和5年度 共同生活援助『カサロッサ・ぱびるす』事業報告

### 1. サービス内容について

食事の準備や居室清掃など専属の世話人のもと、家庭的な雰囲気の中で利用者間の交流・親睦を深めた。

食事については、利用者の喜びに繋がるようリクエストに応じた食事メニューの提供や、健康状態に合わせた食事メニューの提供を実施した。

また、通院時の送迎・買い物等の支援も必要に応じて実施した。

### 2. 行事について

陶器まつり、利用者忘年会、地域清掃活動等の行事に参加し、施設利用者や地域の方々と交流することができた。

### 3. 職員研修について

施設内では、利用者への支援のあり方についての内部研修を実施し、生活面等のサービス検討について、施設長、管理者、世話人で月1回会議を実施した。

施設外の研修は新型コロナウイルス感染症の影響により、主にWEBで研修会に参加した。

### 4. 緊急時等における対応

令和5年度中は、生活面で利用者に大きな問題はなく、体調の急変等見られなかったことから、緊急で対応することはなかった。今後も、体調の急変等による緊急時には、速やかに管理者に報告すると共に主治医に連絡をとる。

### 5. 災害対策について（火災・自然災害）

施設で実施される避難訓練には、施設の利用者と共にGH利用者も参加した。また、自然災害に対する備え等について、世話人、利用者と共に意識づけを図った。

### 6. 虐待対策について

日頃より電話連絡や週1回グループホームを訪問した際に世話人と連携をとっており、グループホームの各居室にも伺って何か変化等がないか、利用者とのコミュニケーションを図るなかで確認を行った。また月1回行っているグループホーム会議のなかで年に1度、虐待防止の内部研修を実施した。

### 7. 苦情解決について

苦情解決については、利用者や世話人からグループホームの生活について聞き取り等を行い、グループホームにも苦情解決の対応について掲示を行なっている。利用者間での問題はあったが、その都度の聞き取りを行って早期解決に努めたことから、大きなトラブルもなく仲良く生活を送ることが出来た。

